

民主党・無所属クラブ  
レポート

# 区政

# 白石けい子



練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生。練馬二小・貫井中・都立第四商卒。保育士・社会福祉任用主事。NPO法人 ケアステーションぽかぽか設立者。「保育&介護」施設を高松にて提供中。第16期区議会に、福祉現場の声を届けるため区議会議員となる。現在、2期目。区民生活常任委員会、災害対策等特別委員会所属。家族 夫・子ども4人 猫 1匹

17

発行 民主党・無所属クラブ  
練馬区豊玉北6-12-1西庁舎6F  
Tel 03-3993-1111(内7621~5)  
fax. 03-3993-1197

「このままではよくないのか？」  
——平成24年度 予算審議始まる！——

▼**目玉施策はあるのか？**  
平成24年度の練馬区予算が発表されたが、経済状況の低迷が続ぎ、社会情勢の不安がある中、志村区長は、「6百億円の基金（貯金）の一部を取り崩し、現職員数を百十三人削減、委託・民営化を強化し区民サービスは下げない」という。だが、そのことが、将来へ負担を残すのではないかと懸念している。いよいよ、2月8日より重要な予算審議がスタートする。

●**保育所定員拡大に**  
——28億6千万円  
待機児童解消を目指し、500人以上の定員拡大をしていく。

●**高齢者施設を拡充**  
——12億4千万円  
「生涯練馬区で過ごしたい」に応え、特養ホームや高齢者センター等の高齢者施設の整備拡充を図る。

●**高次脳機能障害等の支援施設整備**  
——5百万円  
中途障害者が地域で生活していくための訓練の場の整備に着手。

●**災害に備え、医療機**

関に自家発電整備。  
——7百万円余  
災害時の医療救護体制への構築を図る。

●**「地域医療振興協会」への支援**  
——5億1千万円  
日大光が丘病院院後任に向け、安定した地域医療提供のため。

●**仮称「ねりまシティマラソン」実現に向け**  
——3百万円  
10月頃開催予定実に向け、各所轄署への整備をしていく。



「尾木ママ」尾木直樹氏の「子どもの教育の危機」議員研修に参加（1/20）

### 【けい子の考察】

区の姿勢は、行政改革と枠配分3%シーリングの削減体制と後期実施計画の見直しを大幅な修正をしていくが、これからの経済状況、少子化、人口減少、高齢化と、決して楽観できないのです。次年度は、保険料等も上がり、「地域主権改革」も進み、より自治体の姿勢が問われていくと思われる。将来へ責任転嫁をせず、今から優先順位を示していくことが重要ではないでしょうか。「今がよければ……」の時代は終わり、将来の子どもたちのために、どうするべきか、どうあるべきかをこの定例会にて区長に直問していきたいと思えます。

これからの農産業への活性にむけて

## 「TPP対策に練馬区の姿勢

国ではTPP加盟の是非をめぐる議論が続いています。内閣府や経済産業省が

加盟した場合の経済効果や加盟しない場合の損失を試算する一方で、農水省は、廃業農家による代替の生産活動が一切行われない場合には、11兆6千億円の損失と雇用3百40万人減など、農業者や関連業者にとつてかなり深刻な試算も示されています。

練馬区農業振興計画素案に対するパブリックコメントに、TPPに加入した場合、練馬区の都市農業、ビジネスはどのようになっているのか、という質問がありました。

これに対し区は、加盟することによって貿易の拡大による経済成長が期待される反面、国際競争力が不足する農業等への適切な対応が行われることが必要。農業振興計画に示す将来像と4つの基本目標を示し、それを推進していくため基本

方針に基づき施策を取り組む等と回答しています。

今後、農業が本格的な国際競争にさらされた場合、農業者に対する保護施策と同時に、競争力強化のため、の取り組みが必要であり、とりわけ規模の小さな都市型農業については、更なる高品質化やブランド化がかぎになると考えられます。

今、CAS（セルズ・アライブ・システム）という凍結技術に注目が集まっています。この技術は、凍結しても細胞が破壊されず、解凍後も凍結前の鮮度、うまみ、食感、色等が損なわれないことから、新鮮な生の食材の安定供給が可能となり、産地間格差の縮小とともに、市場の動向にに応じて値段の高いときに出荷できるメリットもあると言われています。

平成22年11月、第1次産業、2次産業、3次産業の性格を併せ持つ第6次産業を促進することを目的とし

た、いわゆる6次産業化法案が成立いたしました。CASなどの先進的技術は農業の6次産業化を促進するものと考えます。

そもそも都市農業には、生産地と消費地が近接しているため、消費者が求める新鮮で安全な農産物が供給されるメリットがあります。さらに、地場農産物の学校給食への安定供給化や高品質化、ブランド化による全国展開などを見据え、都市農業における農業の第6次産業化の意義と可能性についてどのようなご認識をお持ちでしょうか。

（平成23年一般質問より）



父が入所する戸田市の老健に、家族と慰問ライブ（1/2）



### □後記□

TPP問題は、国際的にも日本の姿勢が注目され、社会的情勢としても、これからの動向が注視されています。それだけに、練馬区としても独自性を持つて、考えていくことが重要になるでしょう。

そんな中、民主党政権らしく、農漁林業の産業に、新しい風として『女性の参画』を推進する啓発と政策が打ち出されました。

さる一月十日に、さいたま市で行われた「女性農業者の促進と支援」の農水省の会合に参加した中でも「6次産業に、是非、女性たちの発想と豊かな知恵を活用していただきたい」と説明がありました。この練馬区にも女性農業者の育成が重要と区の姿勢に期待しますが、区の答弁は、「女性の参画も重要と認識。これからも練馬農協と連携していく。国には、税優遇と、担い手対策へより一層の声を出していく」とのきれいな答弁はするものの、区独自の施策ははつきりとは見えてはこない。24年度の予算審議が始まります。多くの方々の傍聴をお待ち致しております。

【上段】光が丘消防署消防団始式に消防団員として（1/19）

【右】高松小の「新年の集い」餅つき会にお手伝い参加（1/14）